

説教

「聖霊の降臨」

辻 幸宏 牧師

主イエスの昇天の後

- ・心を合わせて熱心に祈った(1:14)
- ・120人程の人々、一つになっていた(1:15)

→ 危機意識の表れ

危機意識

- ・主イエスがおられなくなった
 - ・使徒が1名欠けていた
- 使徒にマティアが選出された
- 聖霊が与えられることを待つ

五旬祭 50日目の祭り・七週祭

(出エ34:22、申16:10)

- ・大麦の初穂の束をささげる日から数えて50日目(レビ23:15)
- ・「刈り入れの祭り」、「初物の日」
- ・過越祭、仮庵祭と共に三大祭(申16:16)

旧約に生きる人々

- ・主イエスの十字架を境に新約となる
 - ・人々の生活は、旧約の社会
- 五旬祭のため、人々が集う

主イエスの弟子たち

- ・一つとなって集まっていた
 - ・教会が一つとなることは容易くない
- 聖霊が下ることを切望していた

聖霊の降臨 (2～4節)

- ・聖霊が宿ったことを実感する
- 喜びに溢れ、聖霊に満たされ行動する
- 聖霊降臨は1回限りのこと

今に生きる私たち

- ・ペンテコステ(聖霊降臨節)を覚える
- ・聖霊の働きを感じられない
- ・同じようなことがあれば……

聖霊の宮としての教会

- ・40周年宣言「聖霊について」
 - ・聖霊:旧約の時代に、また主イエス・キリストと共に働いた
- 聖霊は常に宿っておられる

聖霊は特に御言葉と共に

- ・説教者は、聖霊が宿るからこそ説教できる
 - ・御言葉と格闘し、聖霊の導きに委ねる
- 説教は神の御言葉である！

神の御言葉

- ・2000年前に記された
 - ・聖霊により、今に生きる私たちに語りかけておられる
- 今の社会の現実に照らして、聞き取ることが求められる

聖霊は一人ひとりに働く

- ・聖霊はいつでもどこでもおられる
→ 祈り
- ・聖霊をとおして、私たちはいつも主イエス、父なる神と共にいる

一つとなること

- ・「神の国」の完成 聖餐式
 - ・神の子とされ、永遠の生命が約束されている
- ここに希望があり、喜びの人生がある

一つとなること

- ・教会において:世代間ギャップ
 - ・中会・大会において:ビジョンの共有
- 私たちが一つとなることにより、そこに聖霊が豊かに働く